



図1 50V (IL4RA)遺伝子多型ごとの総 IgE 値(左)と C-3223T (IL4RA)遺伝子多型ごとの総 IgE 値 (右)

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Nakamura H, Miyagawa K, Ogino K, Endo T, Imai T, Ozasa K, Motohashi Y, Matsuzaki I, Sasahara S, Hatta K, Eboshida A. High contribution contrast between the genes of eosinophil peroxidase and interleukin 4 receptor α chain in Japanese cedar pollinosis. *J Allergy Clin Immunol* 2003; **112(6)**:1127-31.
- 2) Nakamura H, Matsuzaki I, Sasahara S, Hatta K, Endo T, Imai T, Ozasa K, Motohashi Y, Ogino K, Eboshida A. Higher sense of coherence as a psychological factor responsible for elevated natural killer cell activity in patients with cedar pollinosis. *J Phys Fit Nutri Immunol* 2004, **14(1)** 25-32
- 3) Nakamura H, Higashikawa F, Miyagawa K, Nobukuni Y, Endo T, Imai T, Ozasa K, Motohashi Y, Matsuzaki I, Sasahara S, Hatta K, Ogino K, Eboshida A. Association of single nucleotide polymorphisms in the eosinophil peroxidase gene with Japanese cedar pollinosis. *Int Arch Allergy Immunol*. 2004 Sep; **135(1)**:40-3
- 4) Hattori K, Sasahara S, Nakamura H, Ozasa K, Endo T, Imai T, Ide T, Honda Y, Hatta K, Motohashi Y, Eboshida A, Matsuzaki I. A study on the mechanisms of depressive tendency in patients with cedar pollinosis focusing on the sense of coherence (SOC) as a stress-coping skill. *J Phys Fit Nutri Immunol* 2004; **14(3)**: 188-194
- 5) Kaneko Y, Motohashi Y, Nakamura H, Endo T, Eboshida A: Increasing prevalence of Japanese cedar pollinosis: a meta-regression analysis. *Int Arch Allergy Immunol*. 2005; **136(4)**:365-371.
- 6) 小笹晃太郎、藤田麻里、奈倉淳子、林恭平、渡邊能行、出島健司、竹中洋、中村裕之、鳥帽子田彰. スギ花粉症 QOL 指標作成の試み. *厚生学* 2003、**50(7)**、1-7
- 7) 鳥帽子田 彰、中村裕之: 大気汚染はアレルギー疾患の発症に関与するか、*Progress in Medicine* 2003 **23 (12)**, 3217-3222.

- 8) 烏帽子田彰、中村裕之: スギ花粉症は今後も増えるのか. 臨床と薬物治療 2004 **23(1)**: 2-5,
- 9) 中村裕之、荻野景規、長瀬博文、大下喜子、松崎一葉、小川幸恵、烏帽子田彰: 喫煙習慣に関連する心理社会的因子の評価と職場の禁煙プログラムの開発. 産業医学ジャーナル 2004; **27(2)**: 67-71
2. 学会発表
- 1) 福富友馬、松崎一葉、笹原信一朗、中村裕之、小笹晃太郎、遠藤朝彦、今井透、八田耕太郎、本橋豊、烏帽子田彰: マスク着用行動による花粉症症状の防止効果が認知機能に与える影響、第15回アレルギー学会春季臨床大会、2003年5月、横浜
- 2) 中村裕之、荻野景規、烏帽子田彰: スギ花粉症における環境と遺伝の相互作用—IL4RA遺伝子を中心として、第3回分子予防環境医学研究会、2003年12月、東京
- 3) 前島早代、中村裕之、烏帽子田彰: スギ花粉症における生活環境因子の親子関係、第16回日本アレルギー学会春期臨床大会、2004年5月、前橋
- 4) 中村裕之、田中武司、秋丸国広、田口徹也、山崎千春、東川史子、信国好俊、宮川清、本橋豊、松崎一葉、笹原信一朗、荻野景規、遠藤朝彦、今井透、小笹晃太郎、八田耕太郎、烏帽子田彰: アトピー性皮膚炎におけるInterleukin 4受容体 α 鎖遺伝子の遺伝子座位間の相互作用. 第4回分子予防環境医学研究会、2004年12月、東京
- 5) 中村裕之、田中武司、秋丸国広、田口徹也、野村明日香、山崎千春、東川史子、信国好俊、宮川清、本橋豊、松崎一葉、笹原信一朗、荻野景規、遠藤朝彦、今井透、小笹晃太郎、八田耕太郎、烏帽子田彰: IL4RA遺伝子からみたアトピー性皮膚炎とスギ花粉症の病態. 第49回日本人類遺伝学会、2004年10月、東京、
- 6) 田中武司、中村裕之、秋丸国広、東川史子、信国好俊、宮川清、遠藤朝彦、今井透、本橋豊、松崎一葉、笹原信一朗、荻野景規、小笹晃太郎、八田耕太郎、烏帽子田彰: アトピー性皮膚炎およびスギ花粉症におけるIL4RA遺伝子座位間の相互作用. 第54回日本アレルギー学会総会、2004年11月、横浜
- 7) 中村裕之、秋丸国広、遠藤朝彦、今井透、本橋豊、松崎一葉、笹原信一朗、荻野景規、小笹晃太郎、八田耕太郎、烏帽子田彰: 気管支喘息症における環境因子の関与についての年齢階級別解析. 第75回日本衛生学会、2005年3月、新潟
- 8) 中村裕之、秋丸国広、遠藤朝彦、今井透、本橋豊、松崎一葉、笹原信一朗、荻野景規、小笹晃太郎、八田耕太郎、烏帽子田彰: 気管支喘息症の有症率と環境因子の関与についての地域間の相違. 第17回日本アレルギー学会春季臨床大会、2005年5月、岡山
- 9) 大矢幸弘、斎藤暁美、青田明子、小嶋なみ子、明石真幸、二村昌樹、秋山一男、高橋清、中川武正、西間三撃、小田嶋博、小林章雄、三宅吉博、烏帽子田彰、中村裕之、足立雄一、赤澤晃: 全国全年齢階級喘息有症率調査(第1報) 全年齢用調査用紙の作成. 第17回日本アレルギー学会春季臨床大会、2005年6月、岡山
- 10) 斎藤暁美、青田明子、小嶋なみ子、明石真幸、二村昌樹、大矢幸弘、秋山一男、高橋清、中川武正、小林章雄、烏帽子田彰、中村裕之、小田嶋博、足立雄一、赤澤晃: 全国全年齢階級喘息有症率調査(第2報) 電話・郵送調査方法の検討. 第17回日本アレルギー学会春季臨床大会、2005年6月、岡山
- 11) 青田明子、斎藤暁美、小嶋なみ子、二村昌樹、明石真幸、大矢幸弘、秋山一男、高橋清、中川武正、小林章雄、烏帽子田彰、中村裕之、小田嶋博、足立雄一、赤澤晃: 全国全年齢階級別気管支喘息

有症率調査（第3報）電話・郵送法による調査結果. 第17回日本アレルギー学会春季臨床大会、2005年6月、岡山

- 12) 山本要、中村裕之、秋丸国広、遠藤朝彦、今井透、本橋豊、松崎一葉、笹原信一郎、荻野景規、小笹晃太郎、八田耕太郎、烏帽子田彰: スギ花粉症におけるNKT細胞の測定とその免疫学的意義についての考察. 第64回日本公衆衛生学会、2005年8月、札幌
- 13) 中村裕之、秋丸国広、山崎千春、東川史子、信国好俊、宮川清、本橋豊、松崎一葉、笹原信一郎、荻野景規、遠藤朝彦、今井透、小笹晃太郎、八田耕太郎、烏帽子田彰: スギ花粉症とCCR遺伝子およびCCL遺伝子の相関に関する患者対照研究. 日本人類遺伝学会第50回大会、2005年9月、倉敷
- 14) 二村昌樹、小嶋なみ子、明石真幸、青田明子、齋藤暁美、大矢幸弘、秋山一男、高橋清、中川武正、小田嶋博、小林章雄、烏帽子田彰、中村裕之、足立雄一、赤澤晃: ISAAC調査票による東京都小中学生のアレルギー疾患有症率. 第55回日本アレルギー学会秋季学術大会、2005年10月、盛岡
- 15) 中村裕之、山本要、秋丸国広、遠藤朝彦、今井透、本橋豊、松崎一葉、笹原信一郎、荻野景規、小笹晃太郎、八田耕太郎、烏帽子田彰: スギ花粉症とNKT細胞の関連に関する患者対照研究. 第55回日本アレルギー学会秋季学術大会、2005年10月、盛岡
- 16) 秋丸国広、中村裕之、山崎千春、田中武司、東川史子、信国好俊、宮川清、本橋豊、松崎一葉、笹原信一郎、荻野景規、遠藤朝彦、今井透、小笹晃太郎、八田耕太郎、烏帽子田彰: スギ花粉症とEotaxinファミリー遺伝子の相関に関する患者対照研究. 第55回日本アレルギー学会秋季学術大会、2005年10月、盛岡
- 17) 中村裕之、秋丸国広、山崎千春、東川史子、信

国好俊、宮川清、本橋豊、松崎一葉、笹原信一郎、荻野景規、遠藤朝彦、今井透、小笹晃太郎、八田耕太郎、烏帽子田彰: スギ花粉症におけるCCR遺伝子およびCCL遺伝子とその遺伝子相互作用. 第5回分子予防環境医学研究会、2005年11月、東京

- 18) 中村裕之、山本要、秋丸国広、遠藤朝彦、今井透、本橋豊、松崎一葉、笹原信一郎、荻野景規、小笹晃太郎、八田耕太郎、烏帽子田彰: 予防医学的見地からスギ花粉症におけるNKT細胞の減少を考える. 第3回日本予防医学会、2005年12月、宇部
- 19) 山崎千春、秋丸国広、中村裕之、東川史子、信国好俊、宮川清、本橋豊、松崎一葉、笹原信一郎、荻野景規、遠藤朝彦、今井透、小笹晃太郎、八田耕太郎、烏帽子田彰: スギ花粉症とEotaxin family遺伝子に関する症例対照研究. 第3回日本予防医学会、2005年12月、宇部
- 20) 中村裕之、秋丸国広、山崎千春、東川史子、信国好俊、宮川清、本橋豊、松崎一葉、笹原信一郎、荻野景規、遠藤朝彦、今井透、小笹晃太郎、八田耕太郎、烏帽子田彰: CCRおよびCCL遺伝子を用いたスギ花粉症の遺伝子診断. 第76回日本衛生学会総会、2006年3月、宇部

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

なし